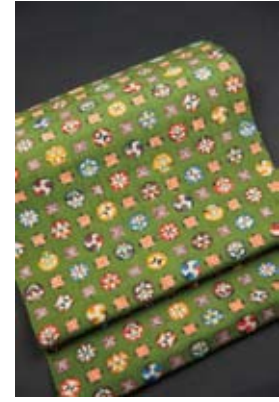


白鷹の織物と型染展

平成 28 年 5 月 14 日 (土) ~ 16 日 (月)



荒川真理子 型絵染名古屋帯



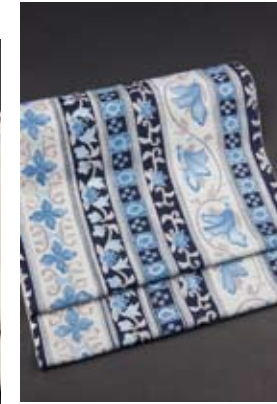
小島貞二 型絵染名古屋帯



さくらんぼ染めお召



本真綿格子紬



名古屋友禅 名古屋帯



手描き刺繍 名古屋帯

夏の着物と浴衣展 同時開催

山形県白鷹町では、まだまだ手織りでこつこつと織っている職人さんが多く存在します。その織物のほとんどは市場に出回らずに、着物愛好家の方に届いています。今回そんな珍しい織物ばかりを集めてみました。型染めの帯とのコーディネートをお楽しみ下さい。

西尾のお茶の小枝染め

白鷹お召 (反物)



西尾市特産のお茶の木で草木染をしているかわちやオリジナルの白鷹お召。

軽くて、しわになりにくく、やわらかくて着心地抜群と3拍子がそろった逸品です。

手織りのお召しで、しばのある独特の風合いのため、さらりと単衣にも最適です。

グレー系なので帯あわせでシックにも、華やかに。観劇やお食事会から少しフォーマル感のある装いまで。

白鷹お召は森田空美さんの

『きもの美巡礼』

でも紹介されています。



先日名古屋市 文化のみち撞木館で開催した『型染を巡る旅展』は大変ご好評頂きました。今回の催しでは、撞木館で展示した型絵染を中心に、それにピッタリの白鷹織物をご紹介します。